

3月号

～夢と希望のわが母校～

【本校の教育目標】



光春小だより

- 元気な子
- 思いやる子
- 考える子



春風ちゃん

R5. 2. 28

 練馬区立光が丘春の風小学校
 〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1

 校長 内木 勉
 Tel 3976-5861 Fax 5383-3592

春の足音を感じながら

校長 内木 勉

南門から南昇降口へ続くところにある紅梅と白梅が満開となり、柔らかな香りを漂わせています。1年生の植木鉢のチューリップも芽を出し始め、春の足音が近づいてきているのを感じています。

2月17日（金）におこないました春風小と光が丘第二中学校との小中一貫教育研究発表会には、区内外から230名を超える方々にご参会いただきました。全学級での学級会や道徳の授業を公開し、たくさんの来校者の前で緊張しながらも、しっかり考えがんばって発表する子どもたちの姿を見ていただき、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。引き続きおこないました光二中での授業公開や研究発表会も盛会のうちに終えることができました。これまでご理解ご協力いただきました地域・保護者の皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。春風小と光二中の小中一貫教育はここがゴールではありません。ここから新たなスタートだと考えています。今後も1番近くて1番仲良しの学校を合言葉に、小学校と中学校が9年間を見通しながら、一緒に考え、一緒に子どもたちを成長させていきたいと考えています。

3月を迎え、6年生を送る会など、卒業に向けたさまざまな行事が予定されています。来たる3月24日には、107名の6年生が春風小を巣立っていきます。子どもたちの新しい世界への旅立ちを、今できる精一杯の気持ちと形でお祝いしていきたいと思っています。

令和4年度も締めくくりの月となりました。学校はたくさんのことをつなぎ、つなげる場だと考えています。それを支えていただいているのは保護者の皆様であり、地域の方々です。今年度も春風小の子どもたちのためにご尽力いただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度も、「笑顔あふれる春風小、夢が広がる春風小」を目標に、子どもたちが憧れと思いやりの心を大きく膨らませていけるよう教育活動を充実させ、高めていけるよう、教職員 OneTeam で取り組んでまいります。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。

3月行事予定

日	曜日	時程	学校行事等	ゆび
1	水	B5	安全指導 6年生を送る会	○
2	木	Cク	クラブ	○
3	金	A5	のぞみ学級：お別れ遠足	○
4	土			
5	日			
6	月	A	避難訓練 保護者会(3年)	○
7	火	B46	感謝の会(6年)	○
8	水	B5	保教の会定期総会 15:00	○
9	木	A	笑顔プロジェクト WBC(6年) SDGs 共創イベント(5年)	○
10	金	A	ひかり指導終 のぞみ学級遠足予備日	○
11	土			
12	日			
13	月	A	保護者会(1年・2年・のぞみ)足計測	○
14	火	A5	足計測	○
15	水	B5	足計測	○
16	木	A5		○
17	金	A	中学校卒業式	○
18	土			
19	日			
20	月	A5		○
21	火		春分の日	
22	水	B5	給食終 大掃除(学級)	○
23	木	A2	修了式 卒業式予行	○
24	金	A	卒業式	13:00~
25	土		避難拠点運営連絡会 14:00(光二中)	
26	日		春季休業日始	
27	月			○
28	火			○
29	水			○
30	木			○
31	金			○

◇令和5年度 1学期始業式

4月6日(木)登校8時15分 下校9時20分頃の予定
 ≪持ち物≫手さげ袋、筆記用具、連絡帳(雨の場合は上履き)
 集合場所については学年だよりをご覧ください。

《1～5年生 足計測・フィッシングについて》

春風小では、令和5・6年度、公益財団法人：日本学校体育研究連合会から足育推進校の指定を受け、足元からの健康教育「足育」に取り組みます。

3/13～15の3日間で、1～5年生の足の計測とフィッシングを実施し、上履きをお渡します。

教員の人事異動に関する報道発表日の変更について

東京都教育委員会は、例年4月1日に行っていた教員の人事異動についての報道発表を、令和5年は、テレビ・ラジオ等で3/21(火)17時以降、3/22(水)新聞で発表することとしました。つきましては、本校では、3/23(木)の修了式で、児童へ転出・退職する教員の紹介をいたします。

<3月の生活目標> 1年間の生活をふりかえろう

<3月のあいさつ目標> 「おあしすさ」心をつなぐ合い言葉

生活指導部

「おあしすさ」とは、「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」「さようなら」の頭文字です。どれも、自分も相手も清々しく、笑顔になれる言葉です。挨拶の仕方には「あいさつ」―「あかるく、いつも、さきに、つづけて」があります。この1年間で、自分から、誰にでも心のこもった挨拶が続けられたでしょうか。本校前の「あいさつロード」でのあいさつ運動を来年度も続けていきます。

【個人情報に関する承認について】

令和5年4月1日の「個人情報保護法」の施行に伴い、本校では、個人情報の取り扱いについて、保護者の皆様の承認をいただくようお願いしております。趣旨をご理解の上、ご同意いただくようお願いいたします。

《名簿等の配布について》

学校では、さまざまな場面で名簿を使用しています。名簿には、氏名・学年・学級・出席番号が記載されています。このような名簿は、新学期に保護者の皆様に対して学級構成を伝えること、行事・学級等での班編成、学校の様子を伝えるなどの教育活動の場面で使用します。こうした名簿の活用は、学校と家庭の円滑な連携や保護者の皆様への説明責任を果たすこと、教育活動の理解を得るために必要な情報提供であると考えています。名簿等の配付によりお伝えすることにご理解をいただければと思います。学校が作成した名簿について、学校は、保護者の皆様の同意なく、任意団体等（保教の会を含む）に提供いたしません。また、学校が配布しました名簿等は、各家庭での取扱い十分に注意し、SNS等へ上げることや第三者に提供することは絶対にしないようお願いいたします。名簿配布に同意いただけない場合は、当該児童の氏名欄は原則空欄として各家庭へ名簿を配布する等の対応となることご理解ください。名簿等の配付についての同意をお願いいたします。何かありましたら学校までご連絡をお願いいたします。

副校長：加藤亜矢子 03-3976-5861

●小中一貫教育研究発表会

研究主任

2月17日（金）に、練馬区の教育課題研究指定校として、光が丘第二中学校と合同で研究発表を行いました。「豊かな心の育成を実現していく小中一貫教育の取組～児童・生徒一人一人の幸せを求めて～」を研究主題として、まず、小中学校の教員が、人間関係形成・社会参画・自己実現の3つの観点から、「目指す15歳の姿」を作成しました。そして、「特別活動（学級活動）」「道徳教育」「特別支援教育」の3つの視点から、豊かな心の育成の実現を目指し、研究・実践に取り組みました。

当日は、小中学校の全クラスが授業公開をしました。練馬区の教員を中心に約230名の方々に参観していただきました。子供たちは、大勢の参加者がいる中での授業に緊張しながらも、集中して授業に取り組みました。この2年間、子供たちには定期的にアンケートを実施してきました。回答から、周りの人や友達の意見を大切にしようとしている子供たちが増加したことが分かりました。意識はしていても、実践することは難しいことです。今後も、義務教育の9年間を見通して、小中学校の教員が連携し、系統的な指導を行っていくことで、豊かな心をもった子供たちを育てていきたいと思えます。ぜひ、ご家庭でも長い目でお子さんの心を育ててあげてください。

今回の研究発表会の開催に当たり、保教の会の執行部役員の方々をはじめとし、多くの保護者の皆様にご協力をいただきました。心から感謝を申し上げます。

●社会科見学：区内巡り

3年担任

先日、社会科見学に行ってきました。初めての社会科見学ということもあって、子供たちはとても楽しそうにしていました。

午前中は、練馬区役所の最上階にある展望ロビーから外の景色を見学しました。天候に恵まれ、快晴だったので、富士山、東京スカイツリーなどもはっきり見ることができました。続いての石神井図書館の見学では、普段利用している図書館のバックヤードや、閉架書庫にある電動式の本棚に興味津々でした。午後からの石神井公園ふるさと文化館では、はりきってメモをとっていました。特に、今の家との違いや古い道具を見付けようと一生懸命話を聞き、見学していました。

後日、まとめとして社会科見学新聞を作りました。子供たちは、学んできたことをしっかりまとめ丁寧に書くことができました。



●卒業にむけて

6年担任

6年生の教室には『卒業までのカウントダウンカレンダー』が掲示してあります。

これは、卒業式に向けて子供一人一人が書いたメッセージ付きのカレンダーを集めたものです。メッセージには「楽しい最高の思い出をつくる」「悔いのない卒業式にしよう」など、子供たちの今の素直な思いが書かれ、卒業に向けて気持ちが高まっていることが表れています。

本日の『卒業までのカウントダウンカレンダー』は17日となりました。少しでも子供たちが充実した日々を過ごせるよう今後も学年レクリエーションなどを計画したいと考えています。残された日々は短いですが、毎日を大切に過ごしていけるよう励ましの声をかけていきたいと思えます。

